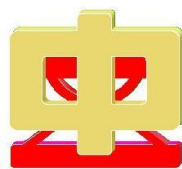


新年度の御挨拶

三原市立第五中学校 校長 居川あゆ子

令和6年度がスタートしました。今年度、本校は全校生徒310名教職員41名でスタートします。昨年度同様、皆様の御理解・御協力をお願い申し上げます。

さて、今年度は、私にとって第五中学校チャレンジの年と位置づけ、生徒、教職員、そして保護者、地域の皆様と力を合わせながら、更なる変革を図っていきたいと考えております。



学校教育目標

考え、表現し、自ら伸びる生徒の育成 ～自律・尊重・向上～

新たな価値を創造するために、主体的に考え、豊かに表現し、自分の力での伸びることができる生徒の育成を目指します。そのため、次のことにチャレンジします。

- チャレンジ① 確かな学力の育成・総合的な学習の時間を中心に主体的な学びを促す授業づくり（PBL型学習他）にチャレンジします
- チャレンジ② 豊かな心と健やかな身体の育成・自己指導力の育成を目指した取組み（縦割り班活動他）にチャレンジします
- チャレンジ③ 信頼される学校・組織的な学校運営体制を強化し、業務改善や効果的な情報発信にチャレンジします

中心となるのは、本校の長年の課題であった「学力向上」の突破口、「総合的な学習の時間」を中心とした授業づくりへのチャレンジです。そのため総合的な学習の時間のキーワードをPBL（Project Based Learning：生徒が自ら問題を見つけさらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習方法）「防災」「キャリア」「地域貢献」「アイデンティティ」「外部人材の活用」と定め、過日取組をスタートさせました。

令和6年度 総合的な学習の時間のための取組

ミッション：「総合的な学習の時間の3年間の系統的な、学習過程を作る」

条件：テーマは「防災」と「キャリア教育」これらを通して、地域貢献や、アイデンティティの確立に迫る

：積極的に外部人材を活用する

：単元の最後に、表現の場を設定する

：本カリキュラムは令和6年度の1学年の3年間の学びとなる。

生徒・保護者・地域の皆様に信頼される学校作りに全力を注ぎます。今年度もどうぞよろしく願いいたします。

